



少しずつ前に進んでいく

大崎 日南子
会社員

👤 三日坊主の私の例外

私は、なんでもコツコツ続けることが苦手だ。夏休みの宿題も毎日コツコツできるタイプではなく、夏休み後半にかけて急ピッチで行うタイプ。

自習ノートを書いても三日坊主。ピースが多いジグソーパズルも、外枠を作ったら満足して、自分一人で完成させられた記憶が無い。そんな私だが **KOCHI IYEO** の活動は例外だ。**KOCHI IYEO** 主催の **YOUTH FORUM** に高校生の時に初めて参加したところからスタートし、スタッフとしてももう **8** 年ほど、活動を続けられている。

私が活動を続けられる理由は、二つある。一つ目は、「誰かのためになっている」と感じられることで、二つ目は、「活動に参加する度に、自分をアップデートしなければ」と思わせてくれる心地よい自己成長を促す出会いと刺激があることだ。

👤 初めての **YOUTH FORUM**

私が **YOUTH FORUM** を知ったのは高校 **2** 年生の時、**8** 月のお盆休みの暑い日に緊張しながら参加したことを昨日のこのように覚えている。

朝、**9** 時前に会場（かるぼーと **2F** 小ホール）につくと、県内各地からの他校の高校生や、沢山の大学生、外国人、大人たちが、参加者やスタッフとしてその場を構築していた。

当日の参加者は **220** 人もいて、**200** 人収容の会場に集まっただけで「圧」を感じた。プログラムは、ウルトラクイズから始まり、**15** 分 **1** クールで外国人や国際交流・協力のブースを巡る異文化ツアーへと続いた。

そんな中で、私の記憶にとても強く残っているセッションが、「夢や、やりたいことを語る」というグループワークだった。将来の夢や、自分がやりたいことを書き、グループにいる人から実際にどうすれば叶えられるのかアドバイスをもらうという意見交流の場だった。そのグループには、実際にバックパッカーで世界を旅した大学生が参加しており、初めて聞く実体験に、未知の世界を知っている先輩として、とても偉大に見えた。

そして、そうやって知らない世界を教えてくれた大学生や、大人たちに憧れを抱き、私もそんなスタッフになりたいと素直に思った。



👤 偶然の再会

夏の **YOUTH FORUM** から季節は変わり、春が来て、私は大学生になった。初夏のある日、私はたまたま大学構内で **KOCHI IYEO** 副会長で、**YOUTH FORUM** のコアスタッフとして動かれている杉尾さんを見つけた。普段の私なら絶対にしない行動だが、その時は、「もうここで話しかけなかったら縁が切れてしまう」と思い、咄嗟に杉尾さんに声をかけた。

「高校生の時に、**YOUTH FORUM** に参加しました。今年はスタッフとして活動したいのですが」と胸の思いをお伝えし、その年の夏、私は大学生スタッフの立場で、**YOUTH FORUM** に参加することとなった。

高校の時とは違い、今度は私が高校生を牽引する側になった。私の行動が直に高校生の新しいスイッチを押すキッカケになるのだと思うと、怖くなると同時に「自分自身がアップデートをしなければ、高校生たちには何も届けられなくなる」と感じたことを今でも覚えている。

あの時、杉尾さんに声をかけていなければ、今こうやって活動している私はいないので、今でもあの時勇気を出してよかったと思う。

👤 高校で身につけた基盤が私を創り続ける

思い返せば、杉尾さんに声をかけてチャンスをつかんだ自分を作ったのは高校生活だった。高校の時に、その勇気や、誰かのために活動する楽しさ、嬉しさ、そして、自分をアップデートしなければと思える基盤を学んだ。授業の一環で、高知城で実際の観光客の方々にガイドを行ったり、授業とはまた別枠で、実際に運航しているの観光列車に乗車して、お客様の前で観光ガイドをしたりした。

また、英語コンテストや、プレゼンの機会をいただくこともあった。

これらの経験から、お客様と一緒に活動する仲間を通じて、自分の行動で喜んでもらえることの嬉しさを知った。また、何度も足を運んでくださるお客様の為にも、「前回の自分よりも良いものを提供しなければならない」という心構えも学ばせていただいた。



観光列車を見送る

この高校生活において学んだ体験や経験は、貴重な私の財産であり、間違いなく今の私を創っている。それはきっと人としての基盤で、その基盤があるからこそ今後も青少年育成活動を続けられているのだと思う。

私は、コツコツ続けることが苦手だと思っていたけれど、自分の行っている活動の意味や、その活動により得られるものを知ること、何かを続けられる自分がいることを知った。これからも少しずつ前に進んでいきたい。

KOCHI IYEO HP



2025 年 5 月 3 日発行
発行者
高知県青年国際交流機構
(**KOCHI IYEO**)
会長 前田正也

☎ 090-9552-0022

✉ xiwang@yacht.ocn.ne.jp